



戸倉城山 ハイキング

2007年7月16日(月・祝)、戸倉城山ハイキングに行きました。場所は、東京都あきる野市。武蔵五日市駅からバスで櫛原方面に向かい、約20分、荷田子で降り、歩き始めます。荷田子峠まで一気に上り、そこから戸倉城山までは気持ちのよい尾根歩きとなります。今年は、梅雨が長く涼しい日が続いていますが、この日は天候に恵まれ、夏らしい日差しを浴びることができました。

本丸があった山頂は、五日市の街並みを眼下に見下ろし、遠く東の方角には新宿の高層ビルを眺めることができます。山頂から一気に下ると樹齢400年の桜がある光厳寺。武蔵五日市駅方向に少し歩くと「野崎酒造」に到着。銘酒「喜正」の試飲ができる蔵元で、新酒の販売も行っています。ここから少し遠回りをして秋川の遊歩道で駅に向かうことにしたのですが、土砂崩れで通行できない区間があり、さらに遠回りするはめに。雨で増水していましたが、水はきれいです。狭くなった河原でバーベキューや釣りを楽しむ人がちらほら。梅雨が明け夏休みの日曜日はすごい人出となりそうです。真夏手前のちょっと涼しいハイキングでした。



9ヶ月ぶりの赤い日

久しぶりに、平日ではなく休日にイベントを行うことにしたこの日、参加者は、小野勝彦さん、横山和明さん、板垣実さん、町田行弘の4名でした。平日だと参加できない横山さんは昨年10月の「景信山・高尾山ハイキング」以来ということになってしまいました。そういえば、加藤純代さんもそうなるなあ。ただ、桜井利子さんのお通夜で会っていますが…。

八王子駅8時27分の八高線に乗り、拝島駅で五日市線に乗り換え終点の武蔵五日市駅に着いたのは9時7分。9時35分、荷田子バス停に到着しました。

バス停からやって来た武蔵五日市駅方向に数十メートル戻ると右に折れる細い道



があります。古くから住んでいると思われる集落の中を歩いて行くと、左に“荷田子峠・城山・臼杵山”を示す標識があり、それに従って左の山道を上り始めました。すぐに動物避けのネットがあり、その一部が開閉できるようになって山への入り口となっていました。ネットには電流が流れているということ。驚きです。いったいどんな動物が山からやって来るのでしょうか？ たぬき？ いのしし？ 鹿？ もしかして熊！？



心地よい夏の日差し

ネットをくぐるとなんだか自由空間に侵入したようなワクワク感があります。でも、それは束の間、ここから急勾配の山道になったのです。一直線ではないものの小さなジグザグで、一息つけるような平坦な場所もないままぐんぐん高度を上げて行きます。週に2、3回通勤ランを行う横山さんは、うちわ片手に涼しい顔。テニスと水泳で鍛えている小野さんはマイペース。ここ数ヶ月特に出かけることなく過ごしていたという板垣さんは、膝が安定しないと言いながらなんとか斜面を上がって来ます。やっぱり歩かないと衰えていきますよ。

ネットをくぐってから約25分、荷田子峠に着きました。荷田子バス停から600メー



トル、右へ臼杵山2.8キロ、左へ城山1.9キロの標識が立っています。そしてガイドブックには“ここから城山までは尾根上の小さなコブ（突起）を12個ほど越えていくのだが、多くは10～15メートルのアップダウンなので、ペースを乱さないで歩くこと”と書かれています。

それまでの鬱蒼とした林の中の上りと違い、尾根上の道は背の高い木が無く、夏らしい日差しが照りつけます。標高は350メートルほどとかなり低いのですが、樹木から高山植物へ変化する高地を歩いているような感じを楽しむことができます。ガイドブックの言うように、適度なアップダウンを繰り返しながら、歩きますが、いつかの沼津アルプスのように下りきるわけではなく、日陰を作る樹木も現れ、コースの変化を楽しむことができます。



展望の良い城山

荷田子峠から約1時間、目の前に芝生の広場のように見える日当たりのよい場所が見えてきます。いったい何だろうと近づいて行くと、送電線鉄塔がそびえ立っていました。素敵に見えた草地の上りは歩きにくく、しかも日差しが強く暑い！鉄塔を越え、再び木々の中へ吸い込まれて行きます。そしてすぐに、山頂を左方向に示す標識があり、上りながら進むと今度は、直進が城山山頂、左に西戸倉、右に光厳寺という標識が出現しました。右に光厳寺ということは、ここまで戻るのかしら？でも、ガイドブックの地図はそうはなっていないのですが…。

そこから小さなひとつのコブ越えて上ると手頃な広さの山頂に到着しました。標高434メートルと低い山ですが、ここに城の





本丸を構えただけに展望はなかなかのものです。遠くには、新宿副都心などの高層ビルが、下には秋川が流れる五日市の街並みが広がります。時刻は 11 時 40 分、ここで昼食としました。



さて、この戸倉城は、室町時代に土着の地侍と考えられている宮本氏や網野氏らが構成員となった武州南一揆衆の有力者小宮上野介憲明により築城された山城。天文 15 年(1546) この地方を治めていた大石氏は、北条氏康の三男氏照を養子に迎え滝山城を明け渡し、自らは隠居し、戸倉城を隠居所としました。天正 12 年(1584) 北条氏照は、八王子城を構築し、滝山城は廃城します。天正 18 年(1590) 小田原の役で北条氏の滅亡により、八王子城・戸倉城は廃城となりました。

どっちが楽か？

12 時 25 分、食事を終えて出発です。次の目的地、光厳寺への道は、山頂広場の先にありました。急な岩場の下りが続きます。すると、つついっつものように“どちらからが大変だろう？”と考えてしまうのですが。そして、下りで感じる恐怖心のためでしょうか、“上りもきつとこっちのほうがキツイ”と決めてしまいます。でも、きっと“どっちもどっち”だと思いますよ。



15 分ほどで分岐があり、標識を見ると、やはり城山山頂となっています。なるほど、上りの山頂手前にあった光厳寺への道はここにつながっているのでしょうか。そして、私たちが下って来た道は“城山山頂(急坂)”となっていました。こうなると、先ほどの“どっちもどっち”というのはどうということになってしまうのでしょうか？比較するなら両方経験するしかないということかな。その結果「沼津アルプス」の時みたいになったりして…。つまり、比べようがないということか。ここから岩場はなくなり、歩きやすい下りになりました。



幻の梅酒？

さらに 10 分ほどで光厳寺に到着します。この寺は、建武年間(1334 ~ 1338)に足利尊氏が創建したと伝えられる古刹で、門前の樹齢 400 年といわれているヤマザクラで有名ということです。



一休みして、野崎酒造を目指します。ガイドブックによれば、“地酒「喜正」が試飲できる蔵元”ということでしたので、事前にインターネットでこのホームページを見てみました。売店は日曜日が定休日となっていたので、電話で「7 月 16 日の祝日は営業していますか？」と問い合わせたところ営業しているということでした。

野崎酒造はすぐにみつきり、中の売店に入りました。商品サンプルが並べられているだけで、しかも、アイテム数は多くありません。あまりの地味さに戸惑いながらも、試飲して、気に入ったお酒を買い

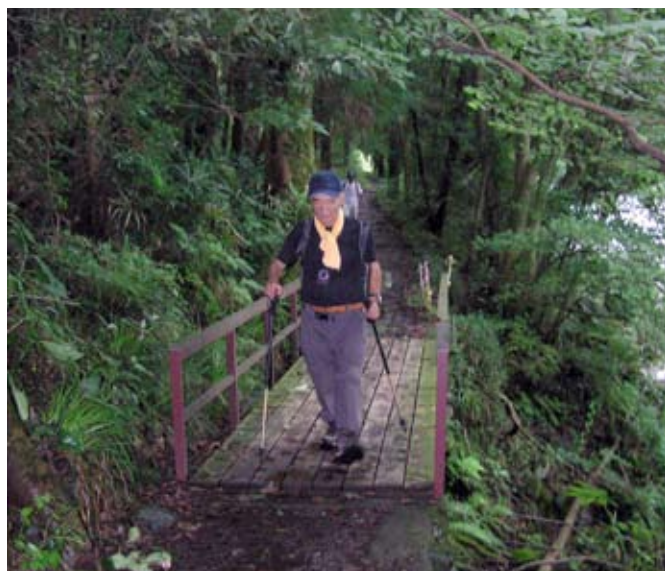




ます。そこへ、近所に住んでいると思われる女性がやってきて、「この間の梅酒ありますか?」「すみません、また冬に出ますから」「わかりました」と彼女は店を出ていきました。お店の人に聞いてみると、日本酒で梅酒を作ります。なんとも贅沢な味を想像してしまいます。今つけ込んでいるのでしょう。そして、その梅酒はここに来なければ買うことはできないに違いありません。

険しい迂回路

野崎酒造をあとにして、秋川を目指します。少し遠回りですが、涼しい遊歩道を歩いたほうが気持ちよさそうですから。秋川で橋を渡し、川沿いの林道を歩き始めると、横山さんが「川の流れる方向が違う」と指摘。川の流れと同じ方向に歩いて行くはずなのに、川の流れと向かい合っています。橋まで戻ると、正面にもう一つ橋があります。その橋が「沢戸橋」でした。「秋川の右岸の遊歩道を歩く」ということなので当然橋を渡るものと思い込んでいたのですが、沢戸橋を渡るのではなく、その手前に遊歩道の入口がありました。その行き先は「小峰公園」となっています。小峰公園といえば、2005年12月の「弁天山ハイキング」の時、横を通過しました。さっき道を間違えたばかりなので、そばにいた地元の方に確認します。ここが遊歩道の入口なのですが、崖崩れのため通れない場所があり、迂回するようになって



いるということでした。川を小さな橋で渡し右岸に着くといきなり通行止め。迂回路は、急坂で登山道の入口のように延びています。予想外の道だったので、とてもきつく感じましたが、約10分で青少年旅行村のある秋川の遊歩道に戻ることができました。この青少年旅行村というのは、青少年の健全な旅行の推進をはかり、あわせて過疎地域の振興に資する観光レクリエーション施設で、昭和45～50年にかけて旧運輸省の補助制度により全国80カ所、各市町村によって整備された場所ということ。遊歩道をのんびり20分ほど歩くと小和田橋、ここで秋川と別れ、檜原街道に出て、武蔵五日市駅に戻り帰りました。





町田行弘	229-1103	神奈川県相模原市橋本 5-29-12	メゾン・アン・ソレイユ 201	042-773-7415
小野勝彦	194-0041	東京都町田市玉川学園 8-22-2		042-725-8403
板垣実	194-0032	東京都町田市本町田 2577-ホ-22-101		042-793-1271
横山和明	195-0062	東京都町田市大蔵町 2181-4		042-735-5662

